

問い合わせ先
第十一管区海上保安本部
海洋情報調査課長 宗田 幸次
TEL098-867-0118（内線2530）

平成23年10月28日
第十一管区海上保安本部

海洋調査分野で在沖研究機関等が連携強化！ ～「第1回沖縄海洋調査・研究連絡会」開催～

平成23年10月18日 海洋分野の調査・研究に携わる在沖の研究機関等が、十一管区本部庁舎に一堂に会し、「第1回沖縄海洋調査・研究連絡会」を開催しました。

この連絡会は、海洋分野の調査・研究に携わる在沖の研究機関等の最前線の調査・研究成果等の情報を共有し、意見交換を行い、緊密な連携が図られるよう、当本部が幹事となり今年度発足させた組織です。

今回は、十一本部で開催し、連絡会に先立ち十一管区本部所属測量船「おきしお」の見学会も実施しました。

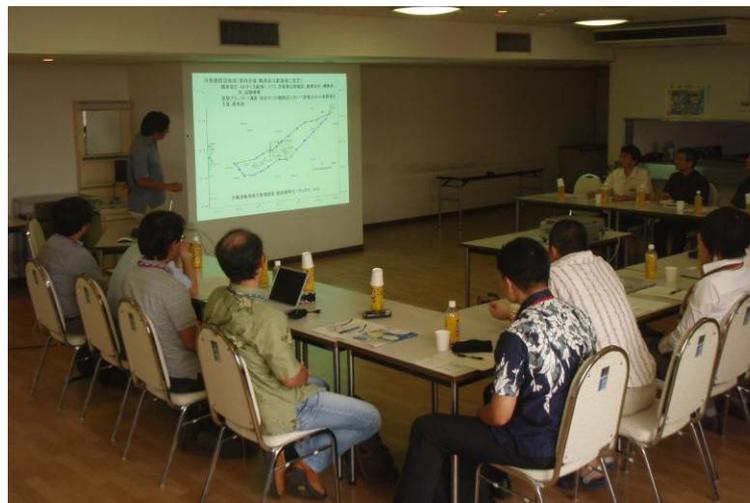
連絡会では、参加機関による活動内容の発表（概要は別紙のとおり）があり、活発な意見交換が行われました。

今後本連絡会が、沖縄の海の安全・安心な利用、環境の保全、資源の開発、産業の発展、研究活動等への貢献に繋がることを期待しています。

来年1～2月に2回目の会合を予定しています。



測量船「おきしお」見学会



【参加機関等】

- ・沖縄气象台
- ・(独) 水産総合研究センター
西海区水産研究所亜熱帯研究センター
- ・沖縄県水産海洋研究センター
- ・(独) 情報通信研究機構
沖縄電磁波技術センター
- ・(独) 沖縄科学技術研究基盤整備機構
海洋生態物理学ユニット
- ・琉球大学
- ・第十一管区海上保安本部

<<活動報告概要>>

○「沖縄周辺における当庁の海洋調査の変遷について」(十一管区本部 春日次長)

(概要)

当庁が沖縄周辺海域においてこれまでに実施してきた海洋調査の概要及び現在実施している調査、提供している情報など

○「調査船「凶南丸」の紹介」(沖縄県水産海洋研究センター)

(概要)

沖縄県水産海洋研究センター所属の「凶南丸」の調査能力や「凶南丸」を活用した最近の海洋調査により得られた成果、取得したデータを活用した情報提供における将来展望など

○「二軸電磁ログによる海潮流観測について」(十一管区本部)

(概要)

当庁が海潮流観測のために活用している二軸電磁ログという観測機器の紹介や最近の海潮流観測により得られた成果など

○「情報通信研究機構(NICT) 沖縄電磁波技術センターの海洋観測センサーの開発」

((独)情報通信研究機構 沖縄電磁波技術センター)

(概要)

NICTが現在所有している海洋観測のためのセンサーの紹介や新たなセンサーの開発計画など

○「潮流調和定数の活用について」(十一管区本部)

(概要)

十一管区本部が現在取り組んでいる潮流を推算するために必要な定数の詳細化技術の紹介及びこれを活用した情報提供の将来展望など

○「沖縄沿岸海洋環境観測システムの構築と海洋保護区の設計」の紹介」

((独)沖縄科学技術研究基盤整備機構(OIST) 海洋生態物理学ユニット)

(概要)

連絡会に参加した機関等が協力することで実現可能な、沖縄特有の立地条件を最大限に利用した観測システムの構築と沖縄サンゴ礁周辺における海洋保護区の設計についての提言など